

37 みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業

【令和5年度予算概算決定額 3,186 (3,466) 百万円】

＜対策のポイント＞

食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現に向け、スマート農業における優れた技術の横展開のための導入実証等を推進するとともに、品種開発の加速化、環境負荷低減等、みどりの食料システム戦略実現に資する研究開発など国主導で実施すべき重要な分野の研究開発等を推進します。

＜事業目標＞

- 農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]
- 重要課題に対応する技術を開発し、農林漁業者等がその開発された技術を実践 [令和9年度まで]

＜事業の全体像＞

1. スマート農業の総合推進対策

1,196 (1,404) 百万円

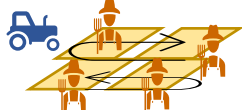
【令和4年度補正予算額】 4,400百万円

① スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

スマート農業の社会実装を加速化するため、必要な技術の開発やデータを活用した現場実証等を行います。

スマート農業産地モデル実証

経営体の枠を超えた産地内でのシェアリングや作業集約による生産性向上やコスト低減等を実証



次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化

畑作物や野菜・果樹等の収量安定化や省力化を実現し、新規就農や畑作物等への転換・定着を促進するための、スマート農業技術の開発・改良・実用化



ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

ペレット堆肥の製造・物流を最適化するシステムの構築、帰り荷となる敷料の探索、現地実証



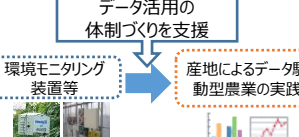
② スマート農業普及のための環境整備

スマート農業を普及させるための環境整備を行います。

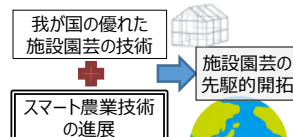
農林水産データ管理・活用基盤強化



データ駆動型農業の実践・展開支援



スマートグリーンハウス先駆的開拓推進



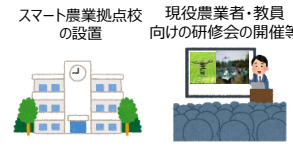
農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討



データ駆動型土づくり推進



スマート農業教育推進



2. 農林水産研究の推進

1,990 (2,062) 百万円

① 研究開発

農林水産業・食品産業の持続性を高めるため、国主導で実施すべき重要な分野について、戦略的な研究開発を推進します。

みどりの品種開発研究

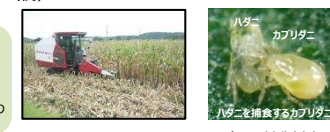
みどりの食料システム戦略の実現に貢献する主要穀物、野菜、果樹などの新品種をゲノム情報、AI、遺伝資源等をフル活用して高速・低コストで育成できる育種基盤を開発



育種効率化基盤「育種ハイウェイ」を構築し、産学官のプレイヤーの品種開発支援を一体的に推進

現場ニーズ対応型研究

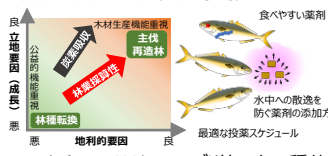
農林漁業者等のニーズを踏まえ、早期普及を視野に入れた、みどりの食料システム戦略の実現に資する研究開発等を推進 (例)



子実用とうもろこしを導入した化学肥料低投入型のブロックローテーション体系の構築

革新的環境研究・アグリバイオ研究

脱炭素・環境対応のグリーンバイオ産業の創出に向けたみどりの食料システム戦略の実現に資する研究開発等を推進



日本全国の林地の林業採算性マトリクス評価技術の開発

② 環境整備

研究開発と成果の社会実装を効果的に行えるよう、最新の研究開発動向の調査やアウトリーチ活動の展開等の環境整備を行います。

知財マネジメント強化

研究成果の効果的な社会実装に向けた知財相談対応、専門家派遣等を実施



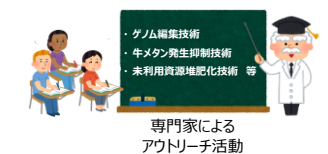
海外・異分野動向調査

海外・異分野の研究動向について市場性やグローバルベンチマーク等を含む調査を実施



みどりの食料システム戦略実現のためのアウトリーチ活動の展開

戦略実現に不可欠な先端技術の社会実装に向けて、専門家と国民・関係業界とのサイエンスコミュニケーション等を実施



【お問い合わせ先】 (1について) 農林水産技術会議事務局 研究推進課 (03-3502-7462) (2について) 研究企画課 (03-3501-4609)